

セルアンドジーンセラピー・カタパルト (英国)

＜神奈川県MOU締結先機関のご紹介＞

※ 神奈川県令和元年度「ヘルスケア・ニューフロンティア
国際展開支援業務委託」事業の一環で、みずほ情報
総研株式会社が作成

(1) どのような機関ですか？

- セルアンドジーンセラピー・カタパルト（英国、ロンドン）（以下、“CGT Catapult”）は、英国政府の研究資金助成機関であるInnovative UKによって設立された独立研究機関であり、再生・細胞医療分野では世界有数の産業化促進機構です。
- 英国が細胞・遺伝子治療におけるグローバルリーダーとなって、企業が最先端の治療を開発し迅速かつ効率的・効果的に患者に提供できるようにすることを目指しており、臨床・プロセス開発・製造・規制・医療経済・市場アクセスに関する専門知識の提供等により、多くの企業と協業が実現しています。

ここがすごい！

- 研究開発の規模と事業化実績（2019年）
180人もの専門家を擁しており、110プロジェクト（投資総額£5.2M）が実行された。また、年間で13の研究パートナーが商業化を実現。



（出典）CGT Catapult Annual Review 2019より
みずほ情報総研(株)が抜粋・翻訳

- 施設規模（開発センター／製造センター）
ロンドンのGuy's Hospital内に、1,200㎡の開発センター・オフィス有するほか、2018年には、GMPに準拠した約8,000㎡の大規模製造センターを開設しており、研究開発だけでなく製造上の課題にも対応。



（出典）CGT Catapult Annual Review 2019

＜組織概要＞

組織名	セルアンドジーンセラピー・カタパルト The Cell and Gene Therapy Catapult (CGT Catapult)
Webサイト	https://ct.catapult.org.uk

(2) 神奈川県との関係は？

- 神奈川県は、2015年に、日本の行政機関として初めて、再生・細胞医療分野の産業化に向けた今後の連携と協働に関するMOUを締結しています。
- このMOUを活かして、神奈川県からも、ネットワーキング支援といったサポートが可能です。



＜MOU概要＞

MOU締結時期	2015年11月19日
MOUの目的・内容	◆ 目的： 再生・細胞医療の実用化・産業化の促進に協力して取組み、日英両地域の再生・細胞医療産業分野において、企業及び学術機関等が活発に事業を展開できるよう、両機関の協働を推進し、日英両地域の発展を目指す。 ◆ 合意内容： ・再生・細胞医療及び関連分野における共同研究及び実用化・産業化支援に関する連携 ・産業化の拠点である英国セルセラピー・カタパルト製造センター及び神奈川県ライフイノベーションセンターの間における連携
関連URL	http://www.pref.kanagawa.jp/docs/mv4/cnt/f531396/p1105755.html

(3) 国外企業（日本企業）への支援はありますか？

- 一部、国内企業（英国企業）のみ活用可能な支援メニューがありますが、国外企業に対しても以下のような支援が提供されています。

a. ワンストップ相談 窓口/専門家派遣	b. 規制/制度対応 支援	c. 市場情報提供/ 市場調査支援	d. 現地企業等の紹介・ネットワーク	e. 現地研究者との マッチング（共同 研究支援）	f. 施設・設備供与
○	○	○	○	○	—
g. 立地支援/税制 優遇	h. 支援金/奨励金 制度	i. 補助金プログラム	j. その他	○：提供あり —：提供なし	
—	—	—	—		

※2019年11月に神奈川県がMOU締結先機関に対して行ったアンケート調査の回答に基づいています。

(4) 国外企業等とどのようなコラボレーションをしていますか？

- 国外企業等とのコラボレーションにおいては、特に、次のようなテーマが重点領域とされています。

a. 再生医療・遺伝子 治療	b. 個別化医療	c. バイオテック/ 創薬	d. ヘルステック/ AI活用	e. 低侵襲治療 機器	f. 高精度診断 機器	g. 計測・分析・評価 技術	h. 受託研究・製造・開 発	i. 希少疾患	j. がん／悪 性新生物
○	○	○	○			○	○	○	○
k. 感染症	l. 生活習慣 病	m. 認知症	n. 生活機能 （フレイル 予防等）	o. メンタルヘル ス・ストレス	p. その他	○：特に重視している領域			
○									

※2019年11月に神奈川県がMOU締結先機関に対して行ったアンケート調査の回答に基づいています。

例えば…

➤ データのライセンス供与

CGT Catapultが提供する多能性幹細胞開発プログラム「Cell Plasticity Platform」で得られたデータのライセンス供与を受け、同プログラムのプロセスと分析データを活用することで、自社の再生医療の臨床研究用培地が異なった組成の他社培地よりも良好なiPS細胞増殖性能を示すことを確認した、という企業の事例が、下記Webサイトで紹介されています。

（出典）Press release: Cell and Gene Therapy Catapult Licenses Cell Culture Data to Ajinomoto Co., Inc.
<https://ct.catapult.org.uk/news-media/general-news/press-release-cell-and-gene-therapy-catapult-licenses-cell-culture-data>

※Web等の公開情報及び2019年11月に神奈川県がMOU締結先機関に対して行ったアンケート調査の回答に基づいています。
 MOU締結先機関が行ったコラボレーション事例であり、必ずしも神奈川県とのMOUを活用した事例ではない点、ご注意ください。

※ 神奈川県令和元年度「ヘルスケア・ニューフロンティア国際展開支援業務委託」事業の一環で、みずほ情報総研株式会社が作成

＜お問合せ先＞

神奈川県 政策局 いのち・未来戦略本部室 国際戦略グループ

TEL：（045）210-2720 メール：hcnf-gs@pref.kanagawa.lg.jp